

The Fifth iCeMS SEMINAR

講演者： 笠原浩二 博士

東京都臨床医学総合研究所
細胞膜情報伝達プロジェクト2
プロジェクトサブリーダー

演 題： トロンビン刺激による
フィブリンの血小板脂質ラフトへの移行

日 時： 2008. 4. 25. (金) 9:30-10:30

場 所： 再生医科学研究所東館5階 ルーフテラス

笠原博士は、主に神経細胞における、細胞膜上のラフトドメインを介したシグナル伝達の解明に大きな貢献をしてこられました。最近、昔研究しておられた血小板のシグナリングをも合わせ、血小板におけるラフトドメインのシグナル伝達で成果を挙げられています。本セミナーでは、トロンビン刺激後の血小板のシグナル伝達について、バックグラウンドを含め、細胞膜分子のラフト領域移行の生理的意義までお話しいただく予定です。

主 催： 京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS = The Institute for Integrated Cell-Material Sciences)
京都大学 再生医科学研究所 楠見研究室 / 科学技術振興機構 ICORP 膜機構プロジェクト
連絡先: 京大再生研 楠見明弘 FAX: 075-751-4113 e-mail: akusumi@frontier.kyoto-u.ac.jp